

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年3月13日 (2008.3.13)

【公開番号】特開2005-18090(P2005-18090A)

【公開日】平成17年1月20日 (2005.1.20)

【年通号数】公開・登録公報2005-003

【出願番号】特願2004-249128(P2004-249128)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/1343 (2006.01)

G 0 2 F 1/1333 (2006.01)

G 0 2 F 1/1337 (2006.01)

G 0 2 F 1/1368 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/1343

G 0 2 F 1/1333 5 0 5

G 0 2 F 1/1337

G 0 2 F 1/1368

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月28日 (2008.1.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 基板と、第 2 基板と、前記第 1 基板と前記第 2 基板との間に設けられた液晶層とを有し、

前記第 1 基板の前記液晶層側に設けられた第 1 電極と、前記第 2 基板に設けられ前記第 1 電極に前記液晶層を介して対向する第 2 電極とによって、それぞれが規定される複数の絵素領域を有し、

前記複数の絵素領域内のそれぞれの液晶層は、前記第 1 電極と前記第 2 電極との間に電圧が印加されていないときに垂直配向状態をとり、且つ、前記第 1 電極と前記第 2 電極との間に印加された電圧に応じて配向状態を変化し、

前記第 1 電極は、下層導電層と、前記下層導電層の少なくとも一部を覆う誘電体層と、前記誘電体層の前記液晶層側に設けられた上層導電層とを有し、

前記上層導電層は少なくとも 1 つの開口部を有し、且つ、前記下層導電層は、前記誘電体層を介して前記少なくとも 1 つの開口部の少なくとも一部と対向するように設けられており、

前記下層導電層と前記上層導電層とに互いに異なる電圧が印加される液晶表示装置。

【請求項 2】

前記上層導電層に印加される電圧よりも高い電圧が前記下層導電層に印加される請求項 1 に記載の液晶表示装置。

【請求項 3】

前記上層導電層に印加する電圧よりも、前記誘電体層による電圧降下分だけ高い電圧が前記下層導電層に印加される請求項 2 に記載の液晶表示装置。

【請求項 4】

前記上層導電層が有する前記少なくとも 1 つの開口部は複数の開口部であって、

前記第 1 電極と前記第 2 電極との間に印加された電圧によって、前記第 1 電極に形成された前記複数の開口部に対向する領域内の前記液晶層がそれぞれ放射状傾斜配向状態をとる複数の液晶ドメインを形成する、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の液晶表示装置。

【請求項 5】

前記液晶層を介して互いに対向するように設けられた一对の偏光板と、前記液晶層を介して互いに対向するように設けられた一对の 4 分の 1 波長板とをさらに有し、

前記一对の偏光板はクロスニコル状態に配置されており、

前記一对の 4 分の 1 波長板のそれぞれは、前記液晶層と前記一对の偏光板のそれぞれとの間に配置されている、請求項 1 から 4 のいずれかに記載の液晶表示装置。

【請求項 6】

前記液晶層を介して互いに対向するように設けられた一对の 2 分の 1 波長板をさらに有し、

前記一对の 2 分の 1 波長板のそれぞれは、前記一对の偏光板のそれぞれと前記一对の 4 分の 1 波長板のそれぞれとの間に配置されている、請求項 5 に記載の液晶表示装置。

【請求項 7】

前記一对の 4 分の 1 波長板の遅相軸は互いに直交するように配置されている、請求項 5 または 6 に記載の液晶表示装置。

【請求項 8】

前記一对の 2 分の 1 波長板の遅相軸は互いに直交するように配置されている、請求項 5 から 7 のいずれかに記載の液晶表示装置。